

高校生向け水防災教育テキスト

地理総合



静岡地域・志太榛原地域大規模氾濫減災協議会

R5.10版

本学習の目的

近年、毎年のように日本各地で水害が発生しています。

静岡市においても、令和4年9月台風15号により、清水区などにおける河川の氾濫による浸水被害や内水氾濫による浸水被害、土砂災害、停電被害などが発生しました。

このとき、安倍川においても「破堤」の危険性が高まる氾濫危険水位（はんらんきけんすい）に達し、とても危険な状態となりました。

安倍川の沿川では、水災害リスクの種類は、地域によって異なります。また、交通などの利便性や自然環境などの住みやすさも地域によって様々です。

本学習では、安倍川沿川の地域ごとの地形や水災害リスク、社会・自然環境条件から、わたしたちがこの地域をより住みやすくするためにはどんな取組が必要かを考えていきましょう。

このテキストとワークシートの使い方

このテキストは、ワークシートとセットで使用することを想定しています。

学習課題1. あなたはどこに住みたい？

- ワークシートの **1** ~ **4** に、対象地域（本テキストP2）について、本テキストのP3~P6の地域の概要や社会条件、P10~P22のリスク情報（P7~P9に水災害リスクの種類などを紹介しています）を整理し、どの地域に住みたいと思うかを整理していきます。

学習課題2. 住みにくいと思う場所では、どんな対策が必要か？

- ワークシートの **5** ~ **6** に、本テキストP23~P27の各種対策を参考に、学習課題1で考えた各地域の水災害リスクに備えてどんな対策が必要かを整理していきます。また、本テキストのP10~P22のリスク情報には、各地域で水災害が発生したときの生活上の課題も記載していますので、それらに対して、自分たちもできることを考えてみましょう。

【学習課題】 1. あなたはどこに住みたい？



候補地域



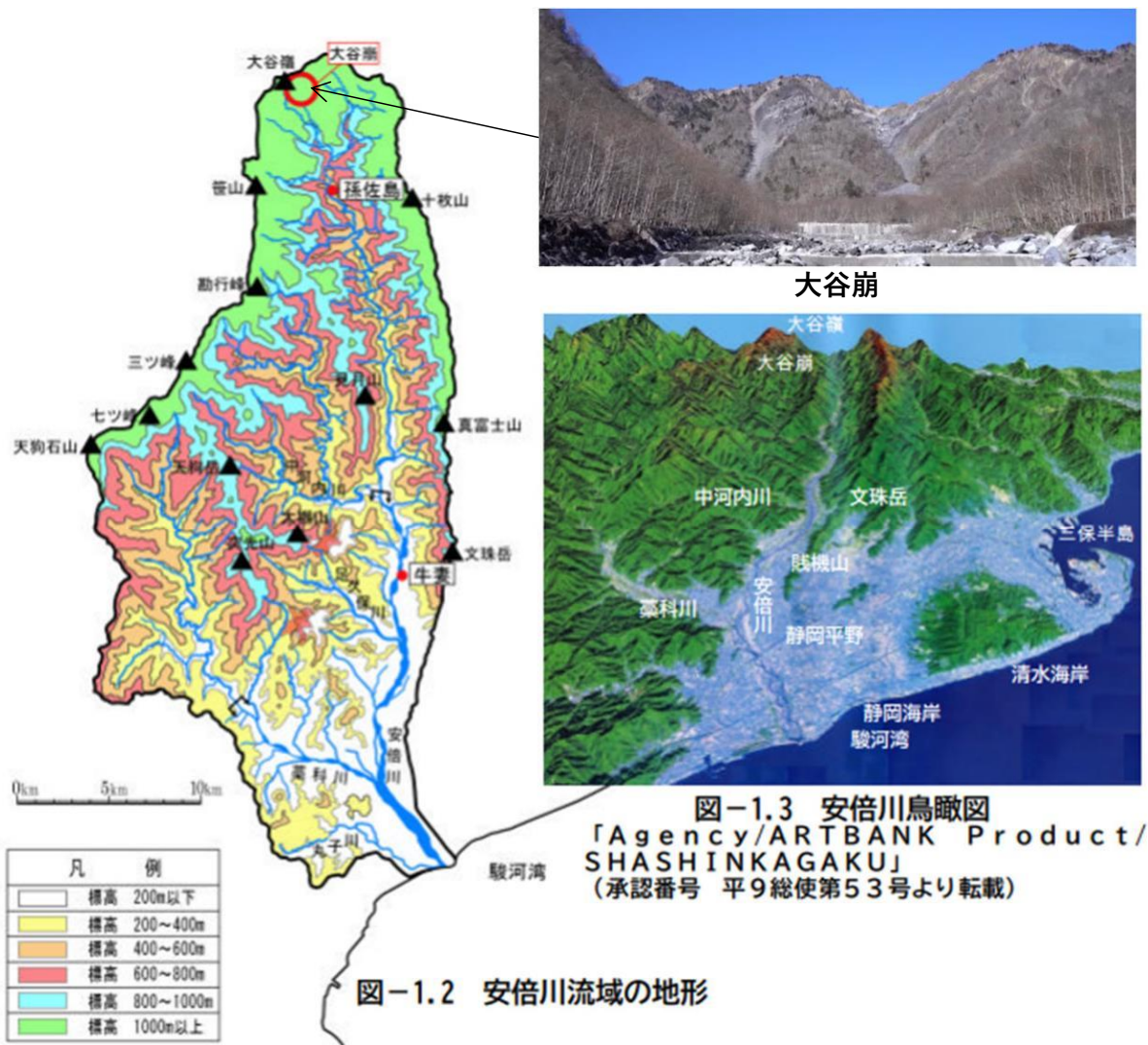
安倍川の流域概要

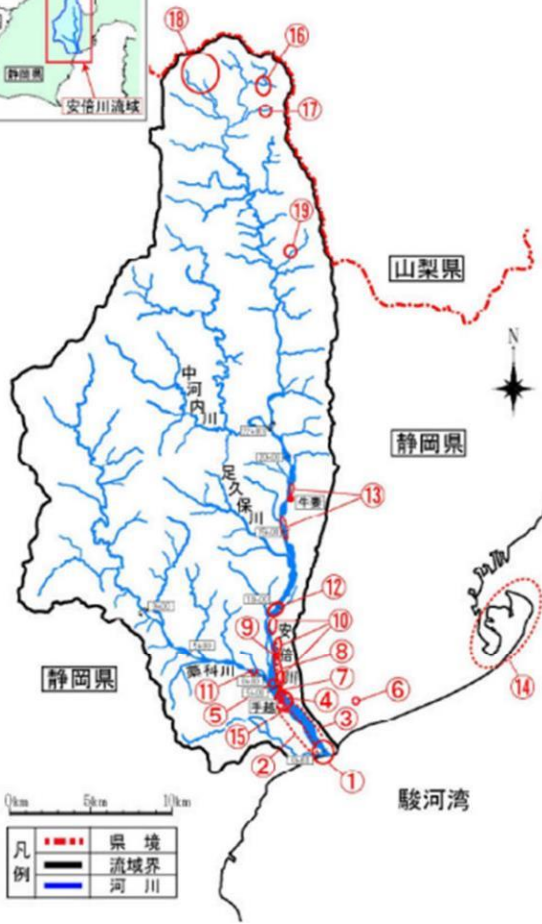
安倍川は、上・中流部で中河内川・足久保川・藁科川などの大きな支川が右岸側から流入し、左岸側からは短小な急流支川が流入し、渓谷の中を流れてくる。

最上流部は、赤石山脈を形成する山の一部で、全般に谷が深く、土砂災害が多い。

上・中流部では、支川や本川沿川の少し開けた場所（段丘）などに宅地がある地域もある。

下流部では、谷底平野が出現し、賤機山を越えたあたりから扇状地の静岡平野が開け、海岸に流出した土砂は駿河湾に面した海岸を形成している。下流部では市街地が形成されている。





安倍川らしさを代表する場所



①河口地区
(出典：静岡・清水海洋保全事業概要「パンフ」 静岡県静岡土木事務所)



②右岸から富士山を背景に見る安倍川



③緊急用河川敷道路



④広大な河川空間を利用した花火大会



⑤舟山



⑥安倍川の稲作文化を伝える登馬跡跡



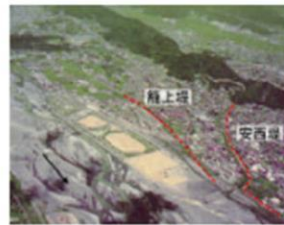
⑦親水公園



⑧安倍川と薬科川の合流点付近の藤原上手



⑨相模スポーツ広場



⑩霞堤



⑪木枯の森



⑫狩野川上流の彩砂堆積の河原



⑬伏流水の取水口とヤナギ林



⑭三保半島
(出典：静岡・清水海洋保全事業概要「パンフ」 静岡県静岡土木事務所)



⑮清流のアユ釣り



⑯上流の深流や滝の景観
(安倍の大滝)



⑰梅ヶ島等の金山
(出典：静岡市防災課)



⑱大谷淵

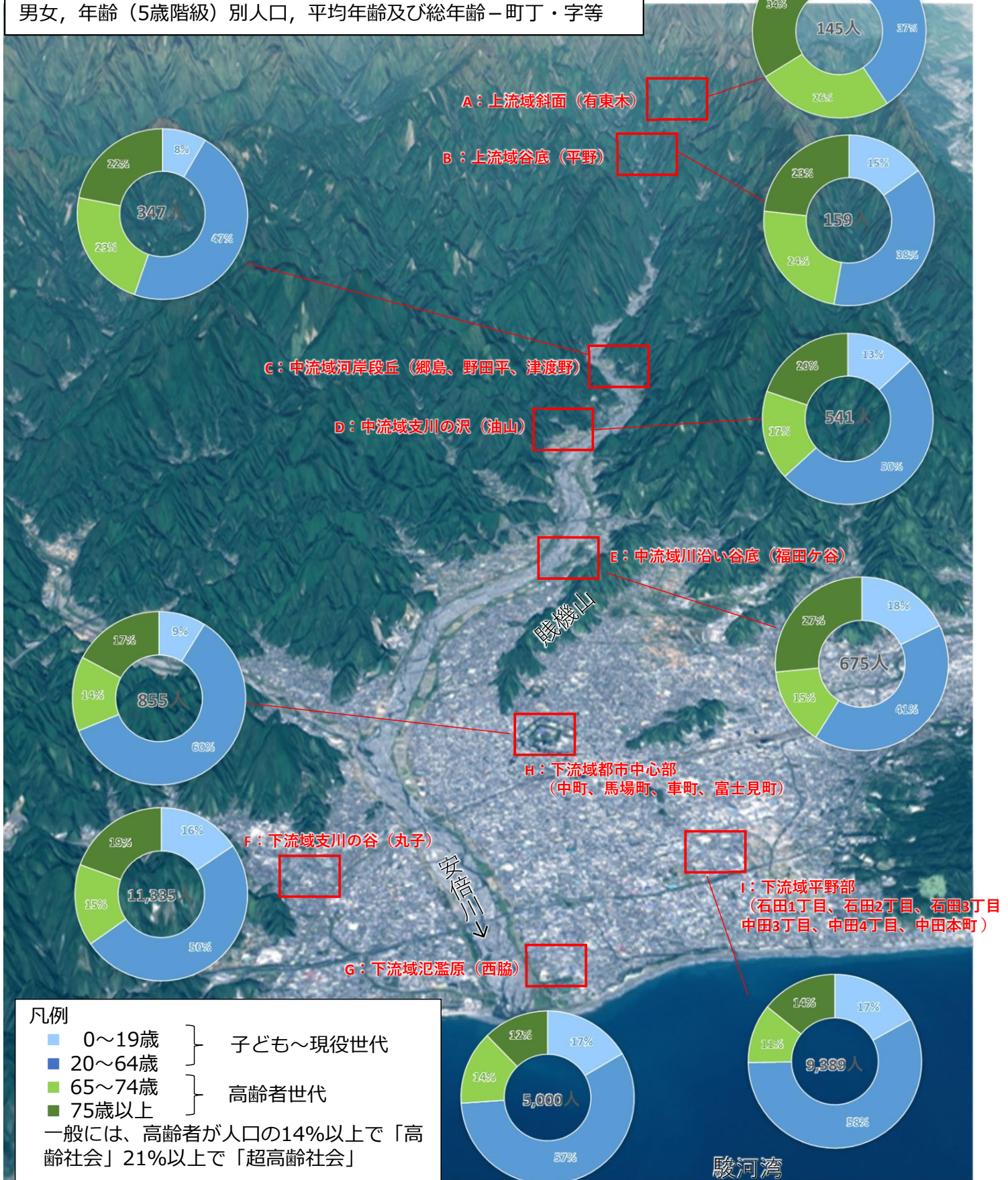


⑲いびり緑谷産地の(有東木)

安倍川水系河川整備基本方針 安倍川水系流域及び河川の概要 より

安倍川沿川の地域ごとの統計情報

統計情報：
 令和2年度国勢調査 小地域集計
 男女，年齢（5歳階級）別人口，平均年齢及び総年齢－町丁・字等



凡例

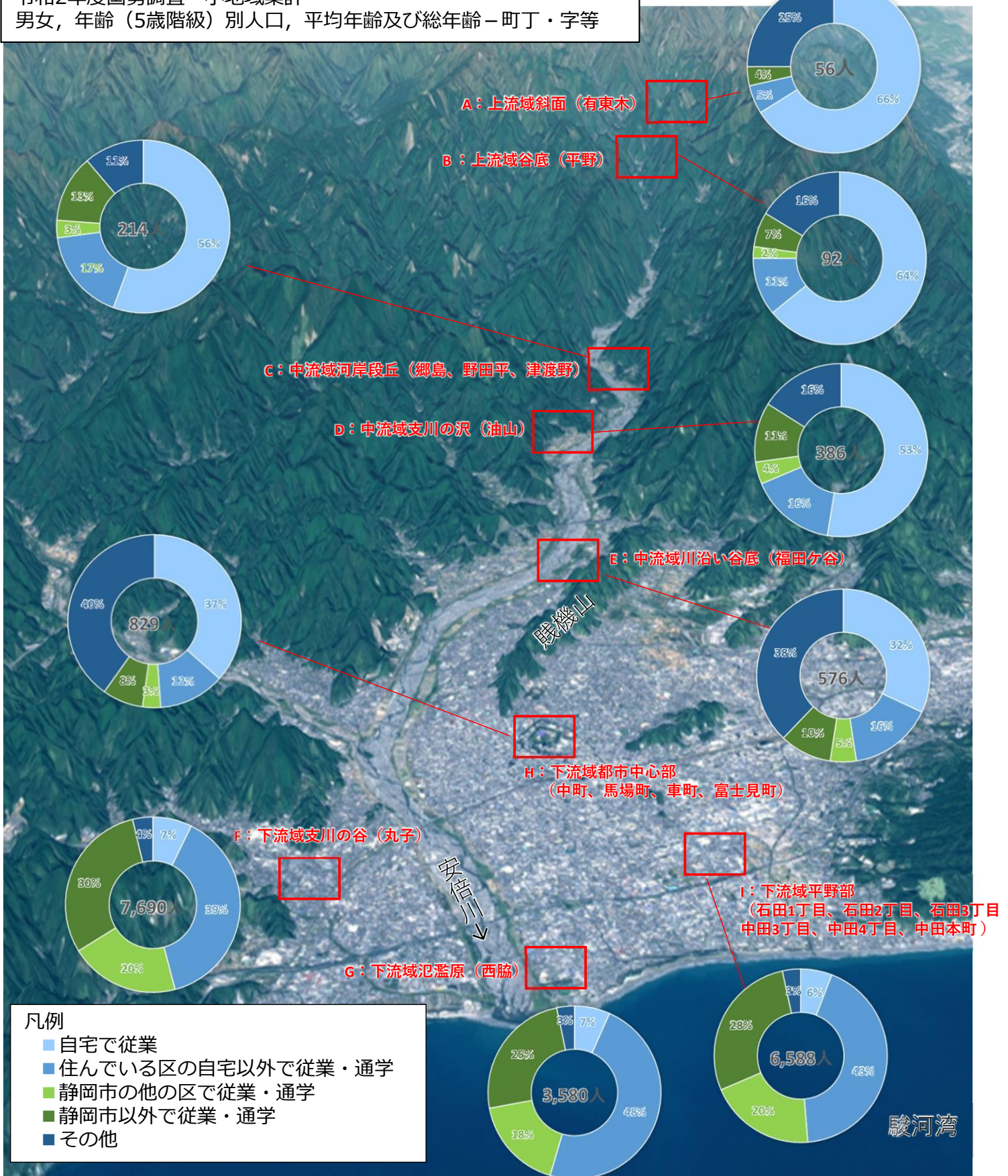
- 0~19歳 } 子ども～現役世代
- 20~64歳 }
- 65~74歳 } 高齢者世代
- 75歳以上 }

一般には、高齢者が人口の14%以上で「高齢社会」21%以上で「超高齢社会」

統計情報：

令和2年度国勢調査 小地域集計

男女，年齢（5歳階級）別人口，平均年齢及び総年齢－町丁・字等



河川沿川の災害リスクについて

土砂災害

安倍川は中上流部は急峻な谷底を流れており、周辺は土砂災害の危険がある。

土砂災害には、大きくわけて以下の3種類ある。

各都道府県は、土砂災害のおそれがある場所を「土砂災害危険箇所」もしくは「土砂災害警戒区域」に指定し、公表している。

| がけ崩れ | 地すべり | 土石流 |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ始めてから、崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。</p> | <p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。</p> | <p>山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速 20～40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊させてしまいます。</p> |
| <p>がけ崩れの前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がけにひび割れができる ・小石がバラバラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧き水が止まる ・湧き水が濁る ・地鳴りがする | <p>地すべりの前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地面がひび割れたり陥没したりする ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り・山鳴りがする ・樹木が傾く ・亀裂や段差が発生する | <p>土石流の前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山鳴りがする ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・腐った土の匂いがする ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる ・立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる |

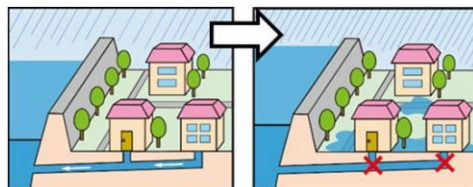
土砂災害の種類と前兆現象 出典：内閣府政府広報室

洪水

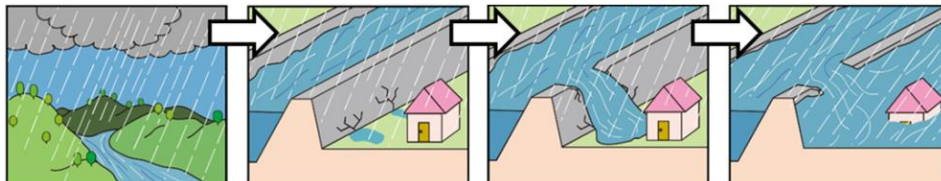
大雨時には、下水道が排水しきれなくなり、浸水が発生する場合（内水氾濫）がある。

また、安倍川やその支川の水位が上昇し、氾濫（外水氾濫）し、浸水被害が発生する可能性もある。

内水氾濫の発生イメージ



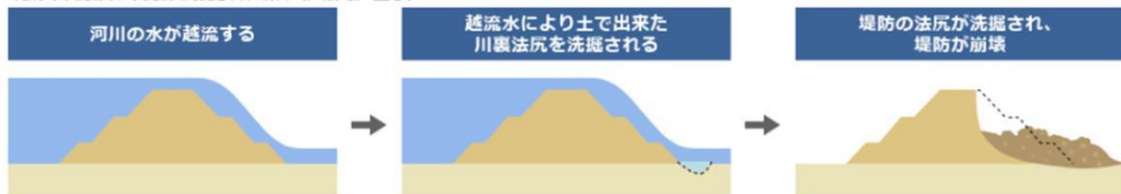
外水氾濫の発生イメージ



外水氾濫には、越水しその後決壊に至る場合と、浸透等により堤防が破壊されて決壊がおこる場合がある。（「堤防の上部まで水が到達しないかぎり安全」というわけではない。）

河川水の越水による堤防決壊

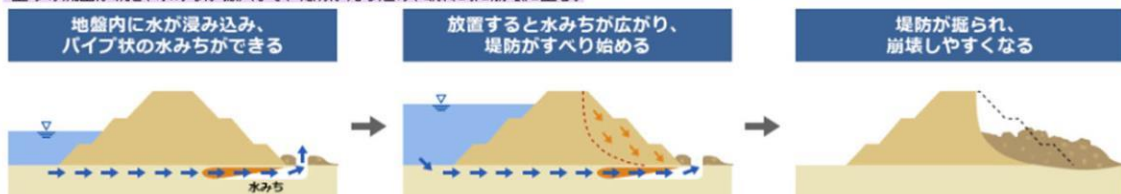
- ・河川水が堤防を越流する。
- ・越流水により土で出来た川裏法尻を洗掘される。
- ・堤防の裏法尻や裏法が洗掘され、最終的に崩壊に至る。



河川水の浸透による堤防決壊

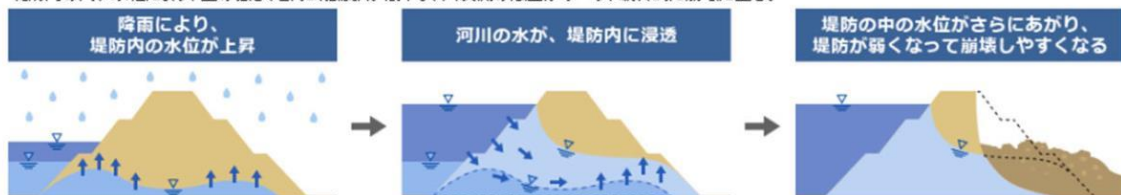
【パイピング破壊】

- ・高い河川水位により地盤内に水が浸み込み、川裏側まで水の圧力がかかることにより、川裏側の地盤から土砂が流出し、水みちができる。
- ・土砂の流出が続き、水みちが拡大して、堤防が落ち込み、最終的に崩壊に至る。



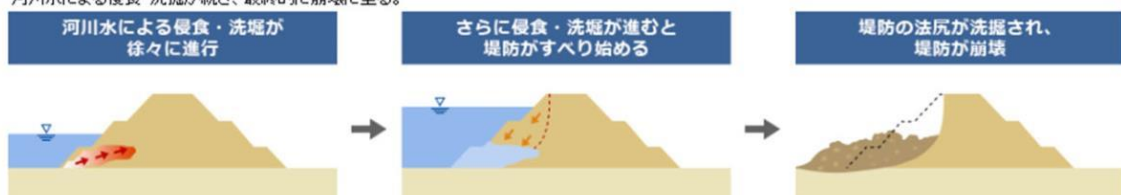
【浸透破壊】

- ・降雨や高い河川水位により水が浸透し、堤防内の水位が上昇する。
- ・堤防内の高い水位により、土の強さ(せん断強度)が低下し、川裏側の法面がすべり、最終的に崩壊に至る。



河川水の侵食・洗掘による堤防決壊

- ・河川水により堤防の河川側が侵食・洗掘される。
- ・河川水による侵食・洗掘が続き、最終的に崩壊に至る。



出典：北陸地方整備局 氾濫のメカニズム


安倍川の下流域は、ほとんどの区間で、このように「決壊」のおそれがある「堤防」構造となっている。一方、上流の山間部は、川の範囲からあふれることで被害が発生する「堀込」構造となっている。



リスク図の見方


次のページから示すリスク図は、安倍川の川の周辺で起こりうる水災害（降雨に起因する災害）について、範囲や浸水深を示している。
 ※静岡市洪水ハザードマップの凡例とは異なる。また、地形の名称は地理の資料集を参照すること。

家屋倒壊等氾濫想定区域 : 想定される最大規模の洪水に対して起こりうる範囲を示している

 **1 氾濫流** : 川からあふれた水のいきおいで、建物が流されるおそれがある場所
 主に堤防（築堤）構造の場合におこる可能性が高い




平成30年（2018年）7月豪雨
 愛媛県大洲市東大須 での氾濫流による建物流出の様子







 **2 河岸侵食** : 川際が洪水で削られ、建物の土台部分が削られることで、建物がたおれるおそれがある場所
 主に掘込構造の場合におこる可能性が高い




平成23年（2011年）台風12号
 三重県熊野市井戸町での河岸侵食の様子

 **3どちらも該当**

想定最大規模

-  0m以上0.5m未満
-  0.5m以上3.0m未満
-  3.0m以上5.0m未満
-  5.0m以上10.0m未満
-  10.0m以上20.0m未満
-  20.0m以上

: 安倍川・藁科川・丸子川において想定される最大規模の洪水に対して、掘込構造箇所からあふれる分、堤防（築堤）構造箇所からあふれる分にくわえ、堤防（築堤）構造箇所で決壊がおこった場合を1カ所ずつシミュレーションし、それぞれの結果の最大となる範囲・浸水深を表示している
 （上流部などは、作成が義務付けられていない地域もあるため、沿川で浸水情報がない場合でも、浸水する可能性はある）

 **土砂災害危険区域**

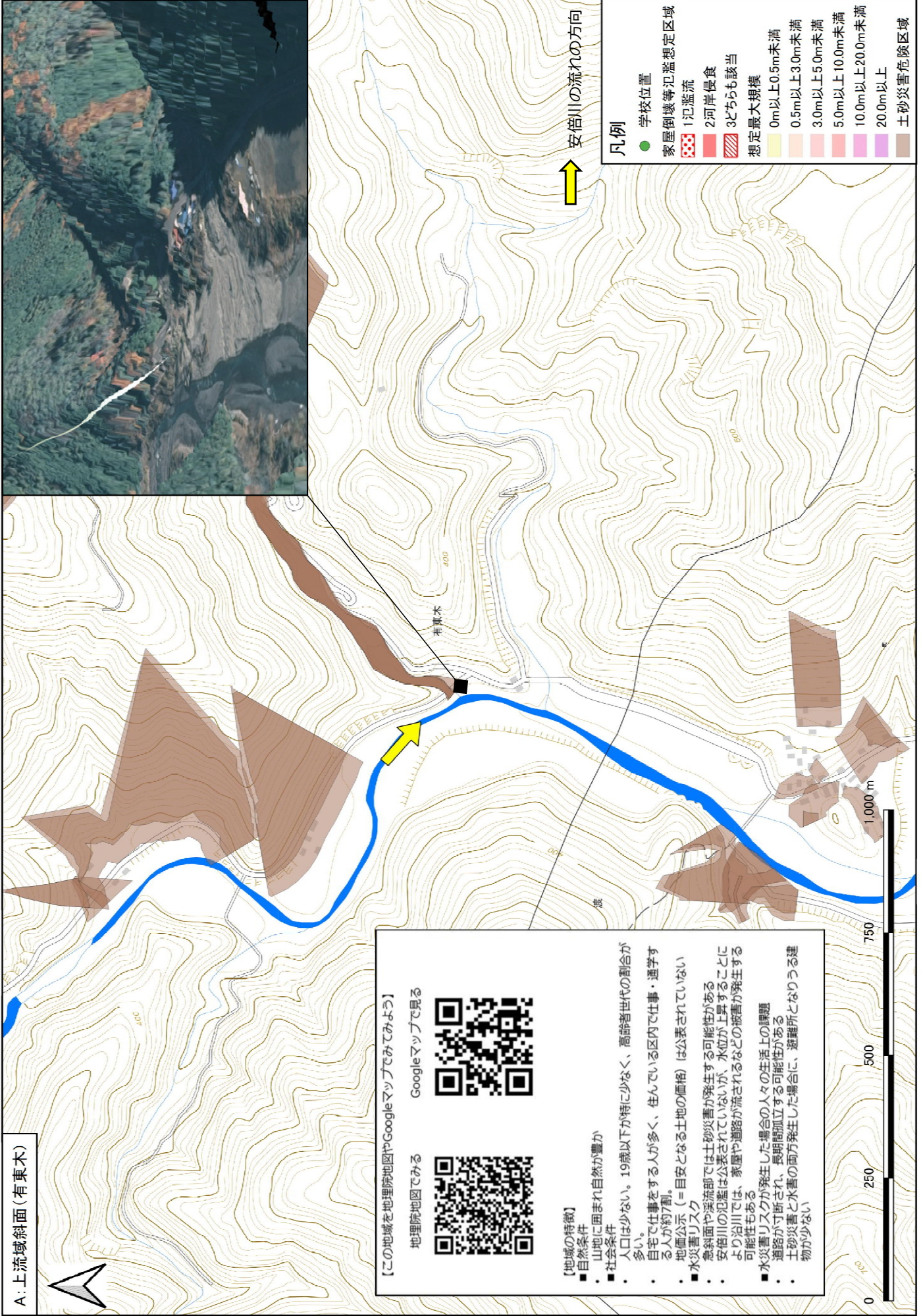
: 土石流・地すべり・がけ崩れにより被害のおそれのある箇所を示している

想定される浸水深

- | | |
|---|--|
|  1.0~2.0m 未満の区域 |  0.1~0.3m 未満の区域 |
|  0.45~1.0m 未満の区域 |  0.1m 未満の区域 |
|  0.3~0.45m 未満の区域 | |

: 静岡市内水ハザードマップより、公表されている区間を抜粋（すべての地域で作成することは義務付けられていないため、浸水情報がない場合でも、浸水する可能性はある）



A: 上流域斜面(有東木)



凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 1氾濫流
- 2河岸侵食
- 3どちかも該当
- 想定最大規模
- 0m以上0.5m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 10.0m以上20.0m未満
- 20.0m以上
- 土砂災害危険区域

【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる  Googleマップで見る 

【地域の特徴】

- 自然条件
 - ・ 山地に囲まれ自然が豊か
 - ・ 社会条件
 - ・ 人口は少ない。19歳以下が特に少なく、高齢者世代の割合が多い。
 - ・ 自宅で仕事をする人が多く、住んでいる区内で仕事・通学する人が約7割。
 - ・ 地価公示 (= 目安となる土地の価格) は公表されていない
 - 水災害リスク
 - ・ 急斜面や逆流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - ・ 安倍川の氾濫は公表されていないが、水位が上昇することにより沿川では、家屋や道路が流されるなどの被害が発生する可能性もある
 - 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - ・ 道路が寸断され、長期間孤立する可能性がある
 - ・ 土砂災害と水害の両方発生した場合に、避難所となりうる建物が少ない

B:上流域谷底(平野)



【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる

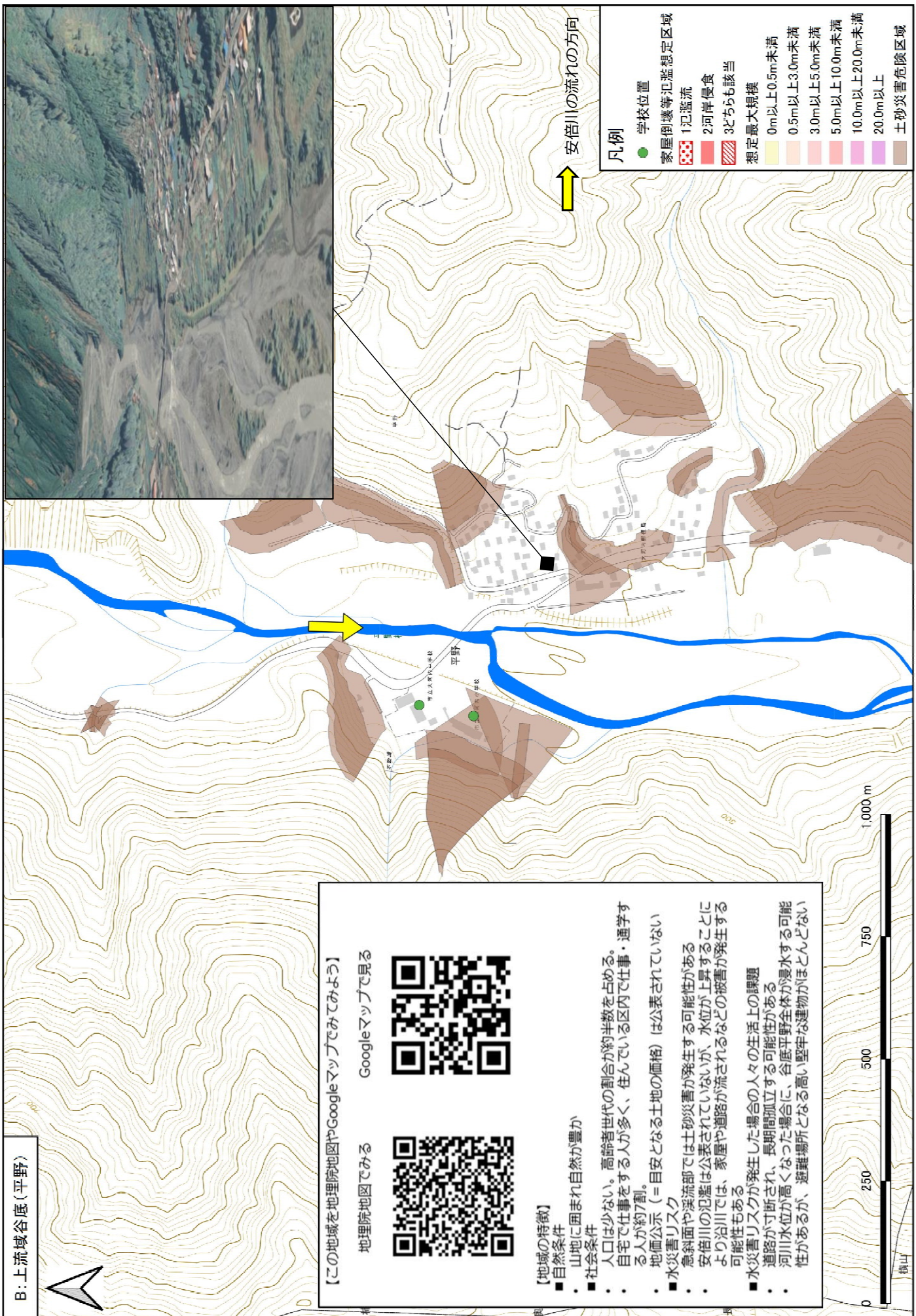


Googleマップで見る



【地域の特徴】

- 自然条件
 - ・ 山地に囲まれ自然が豊か
- 社会条件
 - ・ 人口は少ない。高齢者世代の割合が約半数を占める。
 - ・ 自宅で仕事をする人が多く、住んでいる区内で仕事・通学する人が約7割。
 - ・ 地価公示 (= 目安となる土地の価格) は公表されていない
- 水災害リスク
 - ・ 急斜面や渓流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - ・ 安倍川や平野部は公表されていないが、水位が上昇することにより沿川では、家屋や道路が流されるなどの被害が発生する可能性がある
- 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - ・ 道路が寸断され、長期間孤立する可能性がある
 - ・ 河川水位が高くなった場合に、台底平野全体が浸水する可能性があるが、避難場所となる高い堅牢な建物がほとんどない



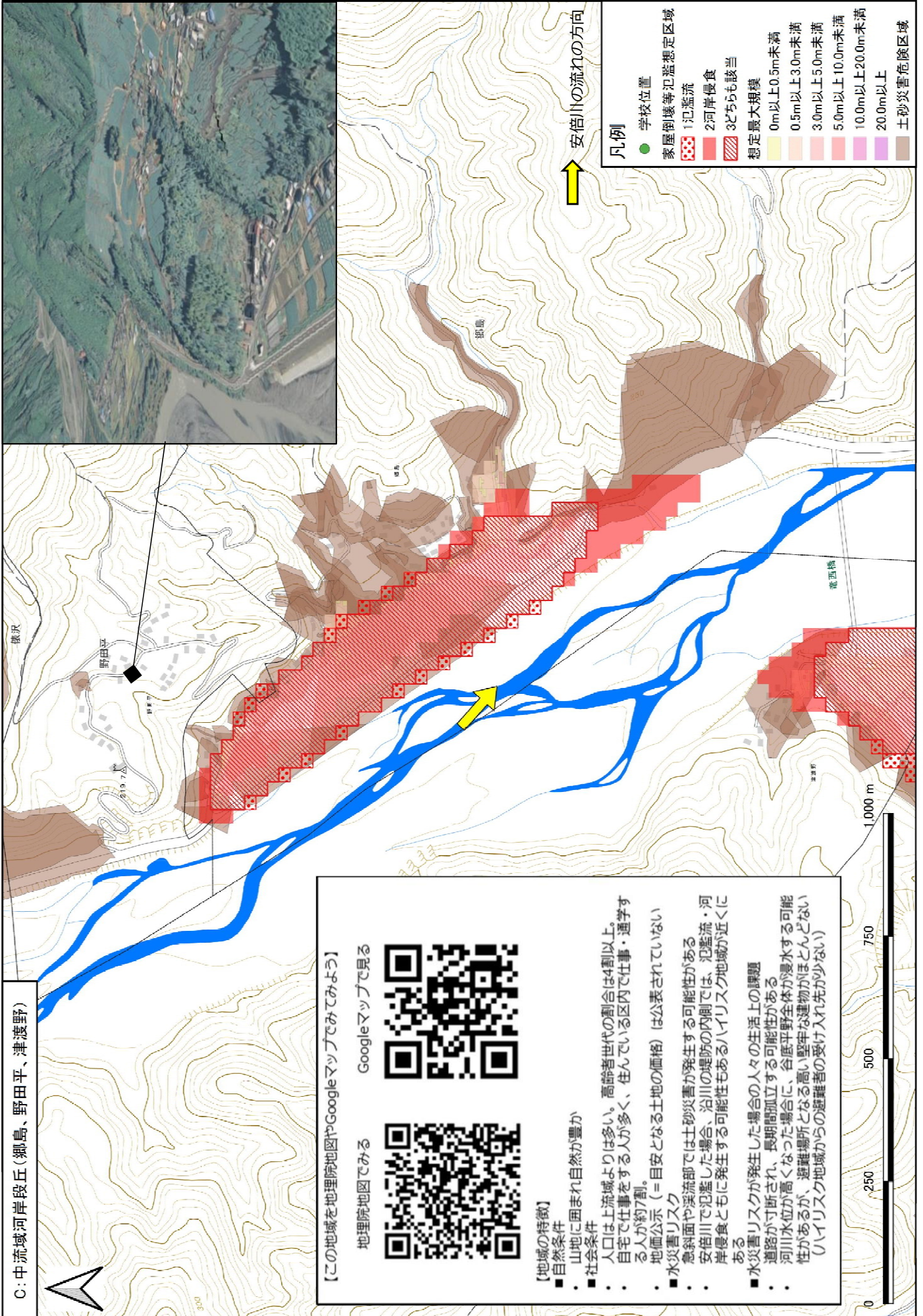
凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等汎濫想定区域
- 1汎濫流
- 2河岸侵食
- 3どちらも該当
- 想定最大規模
 - 0m以上0.5m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 10.0m以上20.0m未満
 - 20.0m以上
- 土砂災害危険区域

安倍川の流れの方向



C: 中流域河岸段丘(郷島、野田平、津渡野)



凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 1氾濫流
- 2河岸侵食
- 3どちらも該当
- 想定最大規模
 - 0m以上0.5m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 10.0m以上20.0m未満
 - 20.0m以上
- 土砂災害危険区域

↑ 安倍川の流れの方向

【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる



Googleマップで見る



【地域の特徴】

- 自然条件
 - ・ 山地に囲まれ自然が豊か
- 社会条件
 - ・ 人口は上流域よりは多い。高齢者世代の割合は4割以上。
 - ・ 自宅で仕事をする人が多く、住んでいる区内で仕事・通学する人が約7割。
 - ・ 地価公示 (= 目安となる土地の価格) は公表されていない
- 水災害リスク
 - ・ 急斜面や深流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - ・ 安倍川で氾濫した場合、沿川の堤防の内側では、氾濫流・河岸侵食ともに発生する可能性もあるハイスリスク地域が近くにある
- 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - ・ 道路が寸断され、長期孤立する可能性がある
 - ・ 河川水位が高くなった場合に、谷底平野全体が浸水する可能性があるが、避難場所となる高い堅牢な建物がほとんどない (ハイスリスク地域からの避難者の受け入れ先が少くない)

D: 中流域支川の沢(油山)



【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる

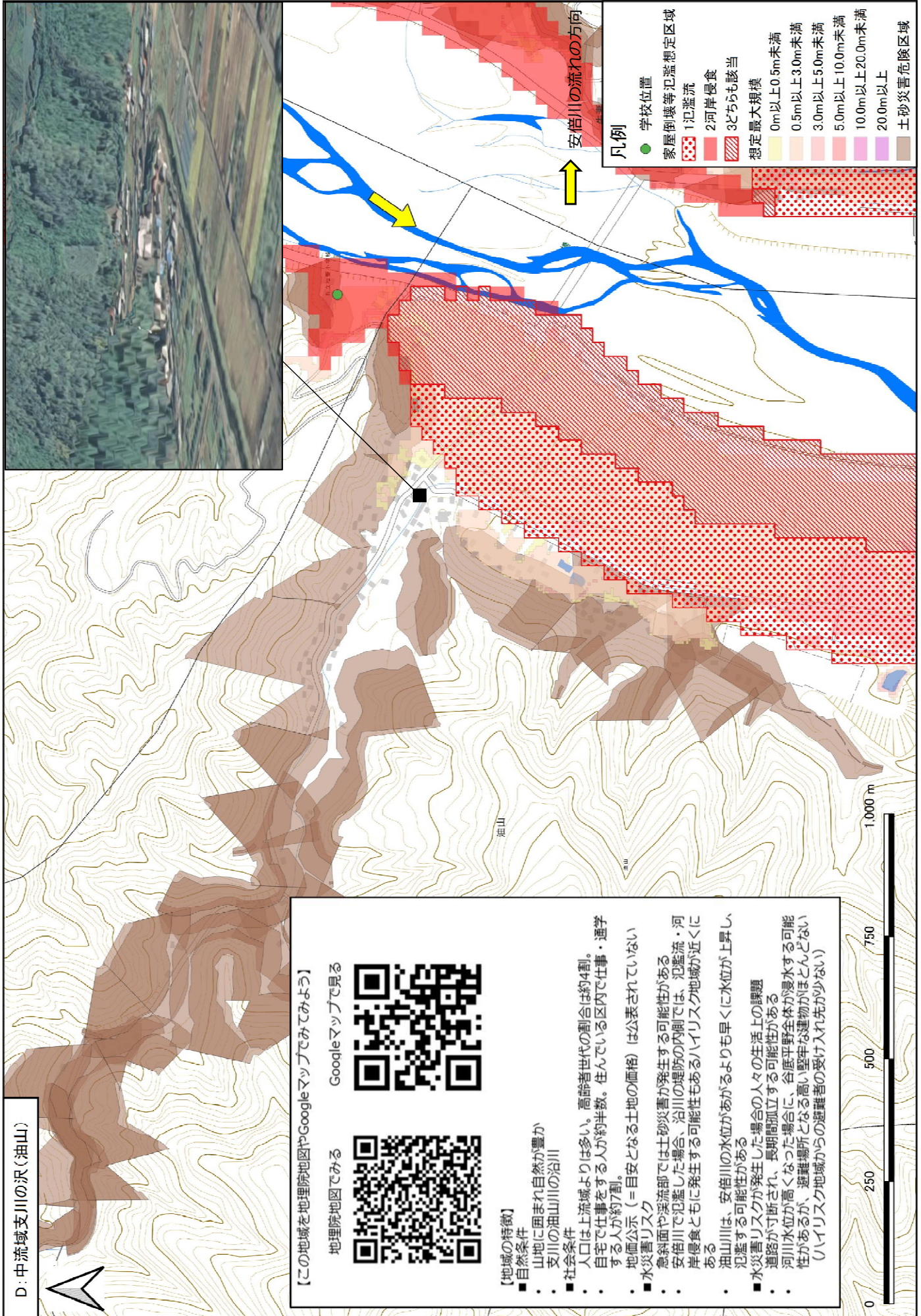


Googleマップで見る



【地域の特徴】

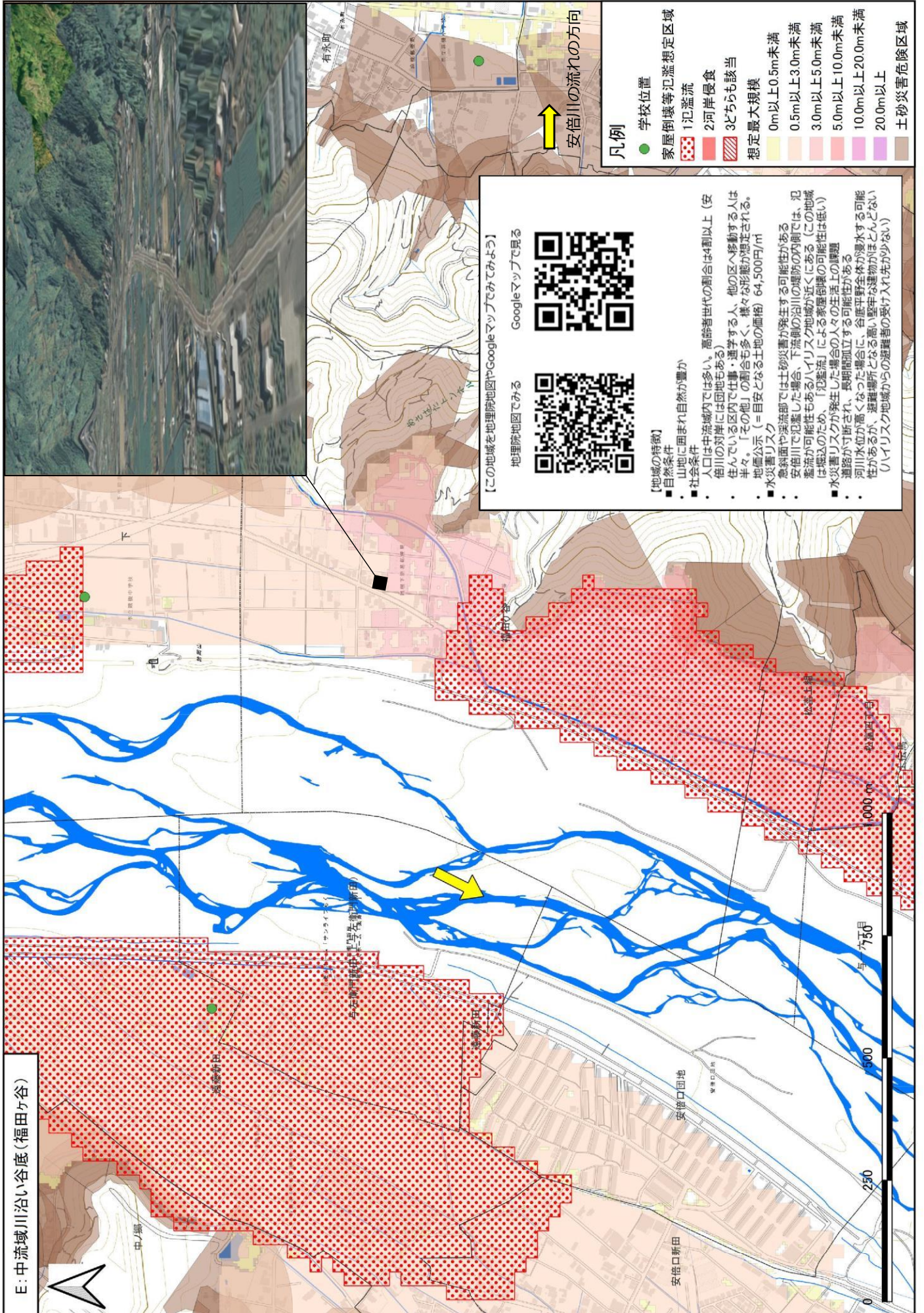
- 自然条件
 - ・ 山地に囲まれ自然が豊か
 - ・ 支川の油山川の沿川
- 社会条件
 - ・ 人口は上流域よりは多い。高齢者世帯の割合は約4割。
 - ・ 自宅で仕事をする人が約半割。住んでいる区内で仕事・通学する人が約7割。
 - ・ 地価公示 (= 目安となる土地の価格) は公表されていない
- 水災害リスク
 - ・ 急斜面や深流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - ・ 安倍川で氾濫した場合、沿川の堤防の内側では、氾濫流・河岸侵食とともに発生する可能性もあるハイスリスク地域が近くにある
 - ・ 油山川は、安倍川の水位があがるよりも早く水位が上昇し、氾濫する可能性がある
- 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - ・ 道路が寸断され、長期孤立する可能性がある
 - ・ 河川水位が高くなった場合に、谷底平野全体が浸水する可能性があるが、避難場所となる高い堅牢な建物がほとんどない (ハイスリスク地域からの避難者の受け入れ先が少くない)



凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 1氾濫流
- 2河岸侵食
- 3どちらか該当
- 想定最大規模
 - 0m以上0.5m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 10.0m以上20.0m未満
 - 20.0m以上
- 土砂災害危険区域

安倍川の流れの方向



E: 中流域川沿い谷底(福田ヶ谷)

- 凡例**
- 学校位置
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 1氾濫流
 - 2河岸侵食
 - 3どちらか該当
 - 想定最大規模
 - 0m以上0.5m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 10.0m以上20.0m未満
 - 20.0m以上
 - 土砂災害危険区域

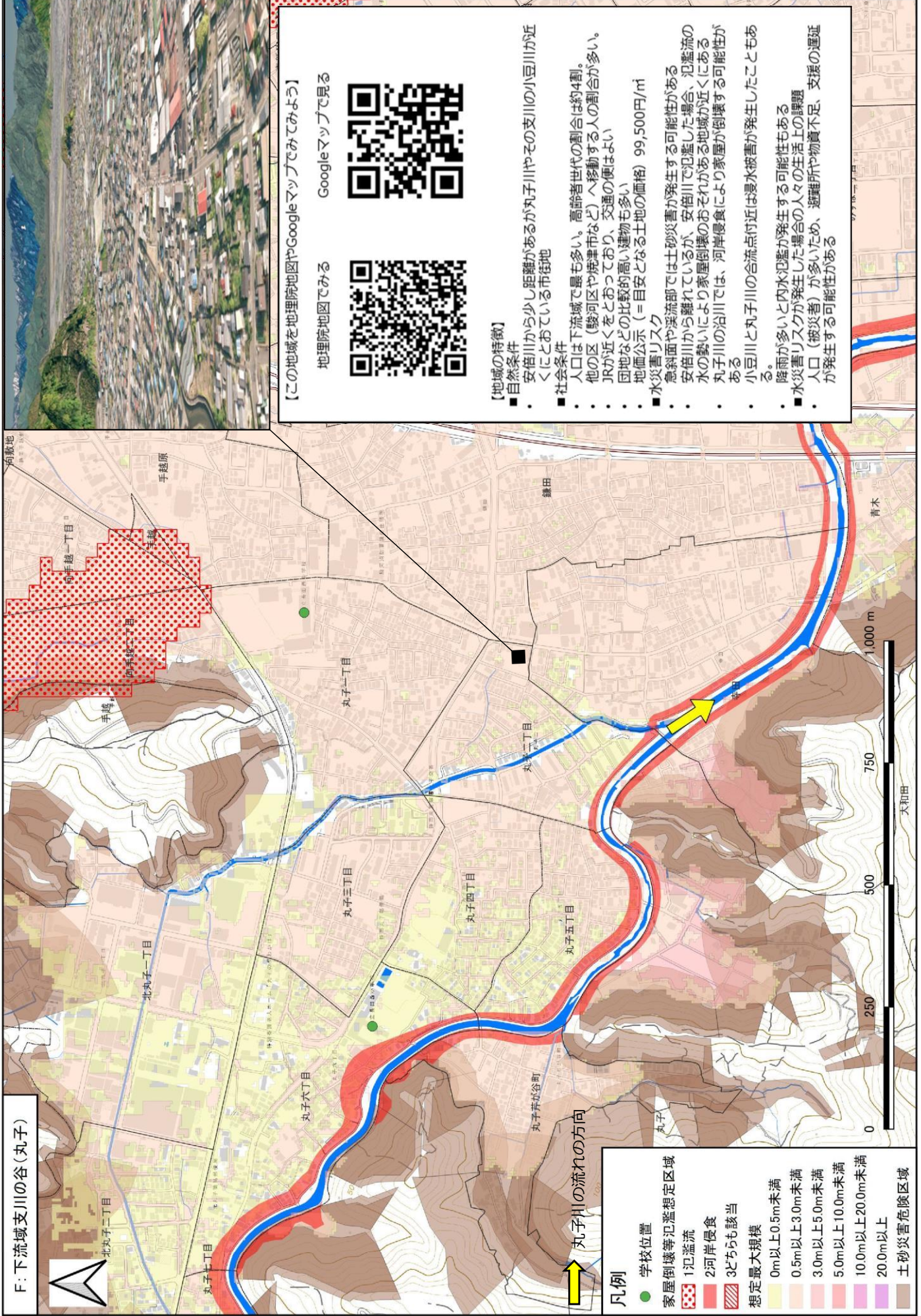
【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる Googleマップで見る

【地域の特徴】

- 自然条件
 - 山地に囲まれ自然が豊か
 - 社会条件
 - 人口は中流域内では多い。高齢者世代の割合は4割以上（安倍川の対岸には団地もある）
 - 住んでいる区内で仕事・通学する人、他の区へ移動する人は半々。「その他」の割合も多く、様々な形態が想定される。
 - 地価公示（＝目安となる土地の価格）64,500円/m²
- 水災害リスク
 - 急斜面や深流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - 安倍川で氾濫した場合、下流側の沿川の埋防の内側では、氾濫が想定される
 - 氾濫が想定されるハイレジリエンス地域に近くにある（この地域は氾濫のため、「氾濫流」による家屋倒壊の可能性は低い）
 - 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - 道路が寸断され、長期間孤立する可能性がある
 - 河川水位が高くなった場合に、台座平野全体が浸水する可能性があるが、避難場所となる高い壁や建物が多い（壁や建物がほとんどない）（ハイレジリエンス地域からの避難者の受け入れ先が少ない）

安倍川の流れの方向



F: 下流域支川の谷(丸子)

【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる Googleマップで見る

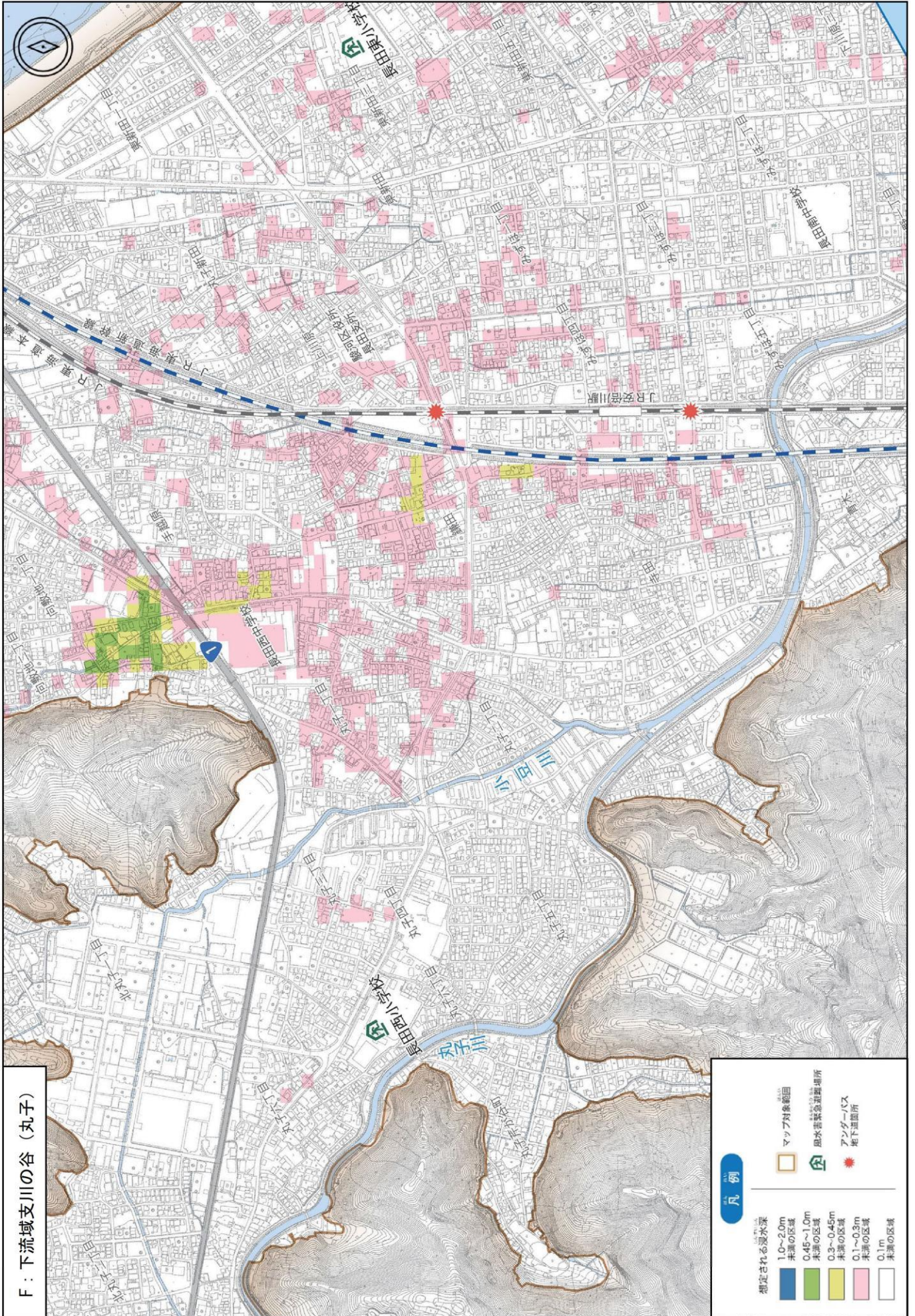


【地域の特徴】

- 自然条件
 - ・ 安倍川から少し距離があるが丸子川やその支川の小豆川が近くにあって市街地
- 社会条件
 - ・ 人口は下流域で最も多い。高齢者世帯の割合は約4割。
 - ・ 他の区(駿河区や焼津市など)へ移動する人の割合が多い。
 - ・ JRが近くをとおっており、交通の便はよい
 - ・ 団地などの比較的高い建物も多い
 - ・ 地価公示(=目安となる土地の価格) 99,500円/m²
- 水災害リスク
 - ・ 急斜面や溪流部では土砂災害が発生する可能性がある
 - ・ 安倍川から離れているが、安倍川で氾濫した場合、氾濫流の水の勢いにより家屋倒壊のおそれがある地域が近くにある
 - ・ 丸子川の沿川では、河岸侵食により家屋が倒壊する可能性がある
 - ・ 小豆川と丸子川の合流点付近は浸水被害が発生したこともある。
 - ・ 降雨が多いと内水氾濫が発生する可能性もある
- 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - ・ 人口(被災者)が多いため、避難所や物資不足、支援の遅延が発生する可能性がある

凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 1 氾濫流
- 2 河岸侵食
- 3 どちらも該当
- 想定最大規模
- 0m以上0.5m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 10.0m以上20.0m未満
- 20.0m以上
- 土砂災害危険区域



F: 下流域支川の谷 (丸子)

凡例

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 想定される浸水深 | マップ対象範囲 | 風水害緊急避難場所 |
| 1.0~2.0m | 1.0~2.0m | アンダーパス |
| 未測の区域 | 0.45~1.0m | 地下道箇所 |
| 0.45~1.0m | 未測の区域 | |
| 未測の区域 | 0.3~0.45m | |
| 未測の区域 | 未測の区域 | |
| 未測の区域 | 0.1~0.3m | |
| 未測の区域 | 未測の区域 | |
| 未測の区域 | 0.1m | |
| 未測の区域 | 未測の区域 | |

G: 下流域氾濫原(西脇)

【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる

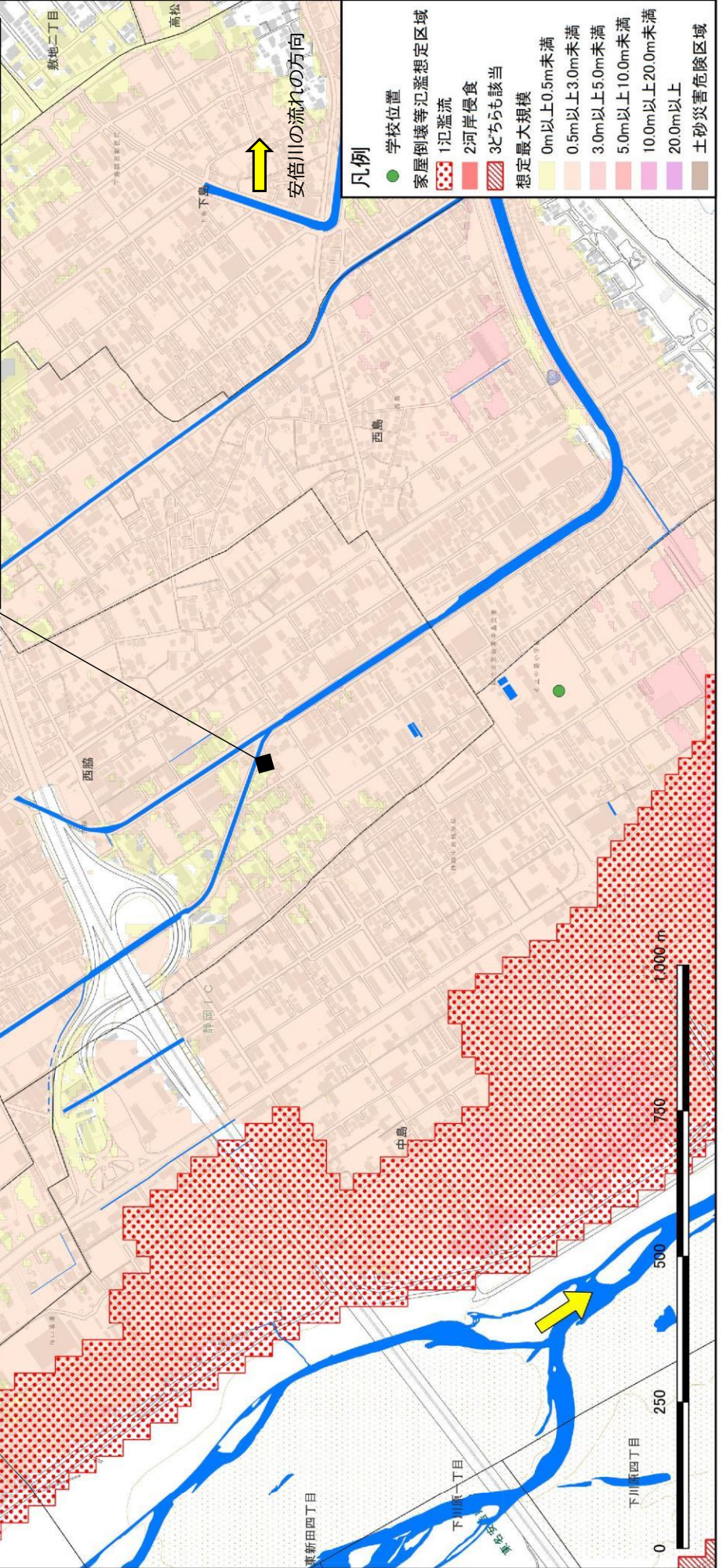
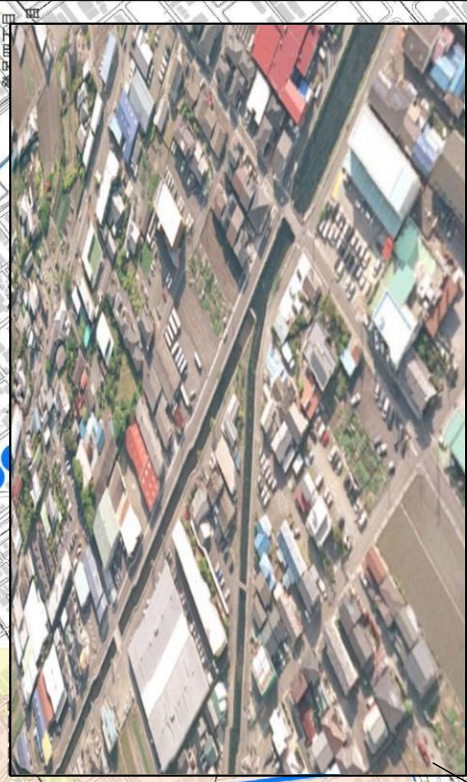


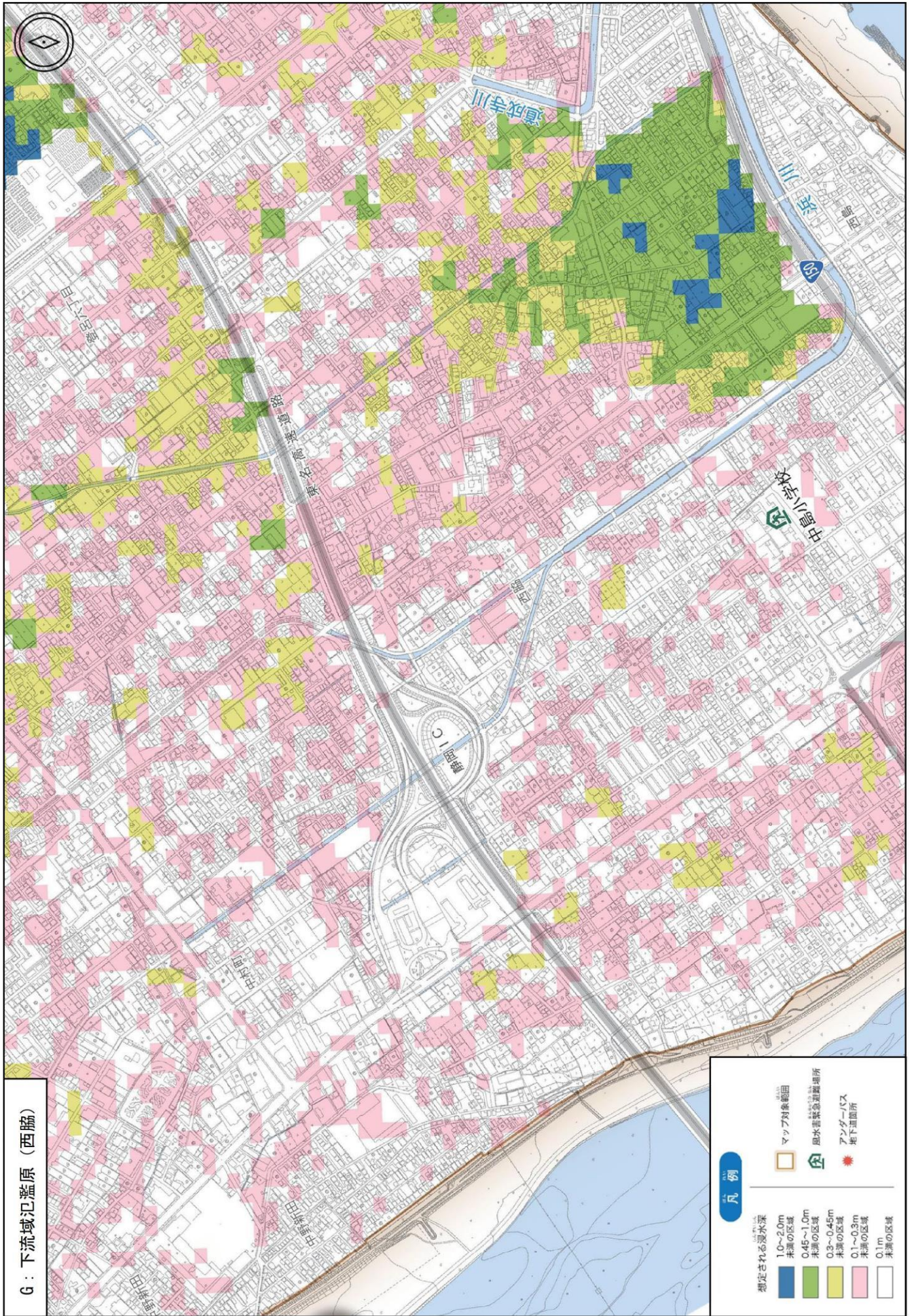
Googleマップで見る



【地域の特徴】

- 自然条件
 - ・ 安倍川や海岸からも近い平野部の市街地
- 社会条件
 - ・ 人口は下流域で中程度。高齢者世代の割合は約2.5割で、他の地域より現役世代割合が多い。
 - ・ 住んでいる区内で仕事・通学する人が若干多いが、他の市へ移動する人の割合も多い。
 - ・ 高速道路のインターチェンジや幹線道路があり、交通の便がよく、商店街などもある。
 - ・ バスが運行時間まで通っており通勤に便利
 - ・ 地価公示（＝目安となる土地の価格）24,000円/m²
- 水災害リスク
 - ・ 安倍川の堤防が決壊した場合、氾濫流の勢いにより家屋倒壊のおそれがある地域が近くにある
 - ・ 降雨が多いと内水氾濫が発生する可能性もある
 - 水災害リスクが発生した場合の人の生活上の問題
 - ・ 人口（被災者）が多いため、避難水や物資不足、支援の遅延が発生する可能性がある





G : 下流域氾濫原 (西脇)

凡例

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 想定される浸水深 | マップ対象範囲 | 思水営業所設置場所 |
| 1.0~2.0m | □ | アンダーパス |
| 未満の区域 | ■ | 地下道箇所 |
| 0.45~1.0m | ■ | |
| 未満の区域 | | |
| 0.3~0.45m | | |
| 未満の区域 | | |
| 0.1~0.3m | | |
| 未満の区域 | | |
| 0.1m | | |
| 未満の区域 | | |

H: 下流域都市中心部(中町、馬場町、車町、富士見町)



地理院地図でみる



Googleマップで見る



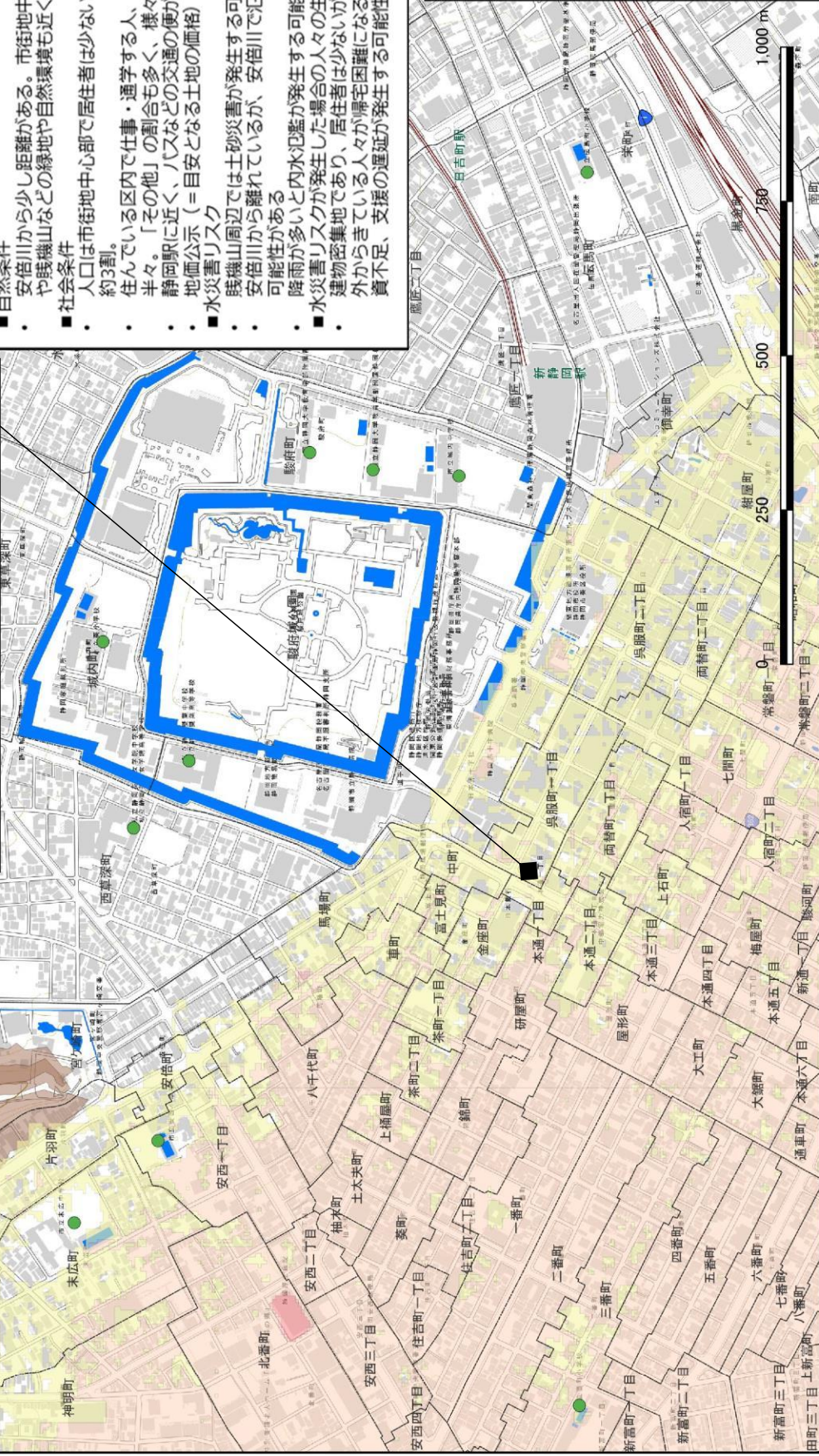
【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

【地域の特徴】

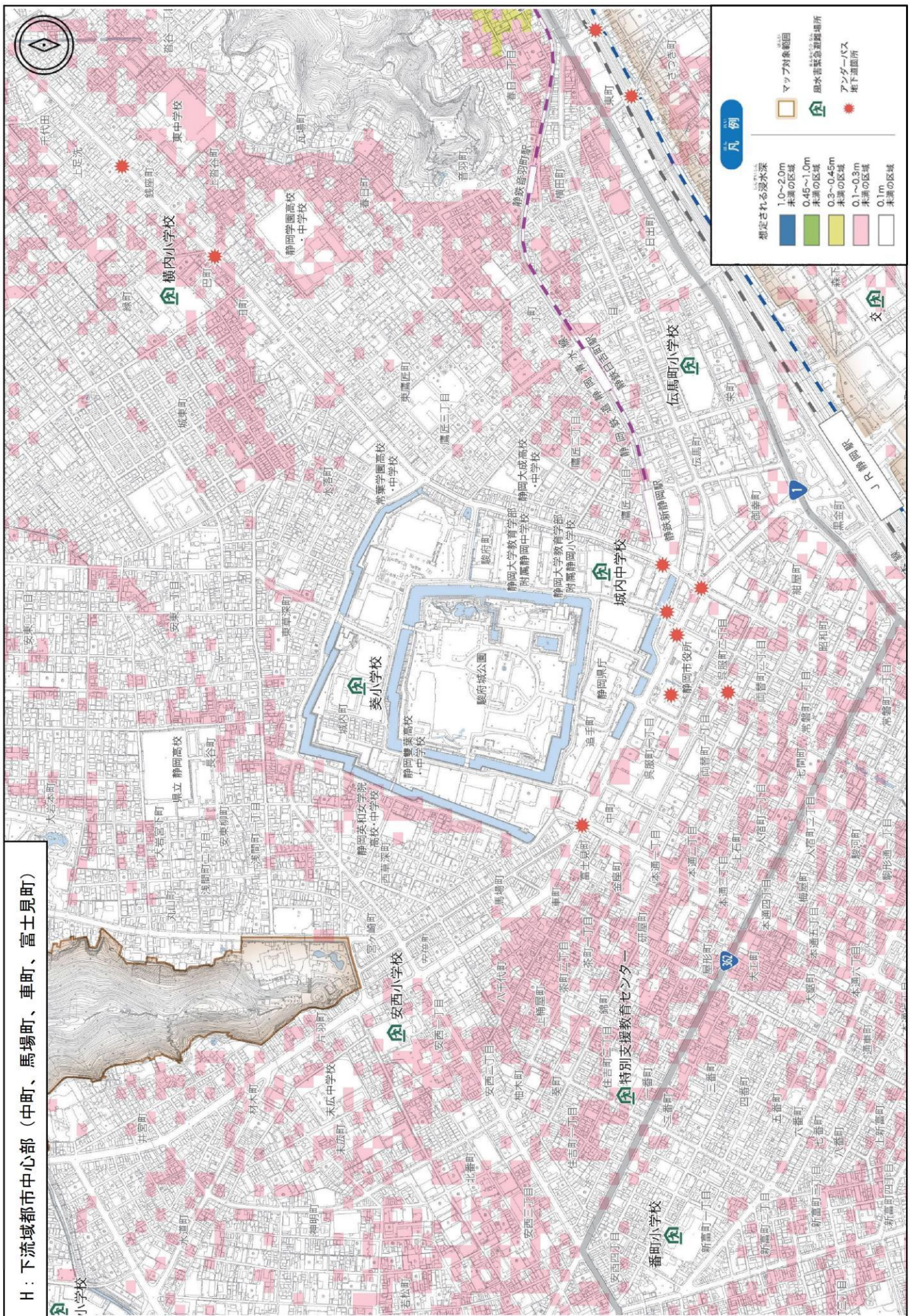
- 自然条件
 - 安倍川から少し距離がある。市街地中心部であるが、駿府城や賤機山などの緑地や自然環境も近くにある。
- 社会条件
 - 人口は市街地中心部で居住者は少ない。高齢世代の割合は約3割。
 - 住んでいる区内で仕事・通学する人、他の区へ移動する人は半々。「その他」の割合も多く、様々な形態が想定される。
 - 静岡駅に近く、バスなどの交通の便がよい。
 - 地価公示(=目安となる土地の価格) 191,000円/m²
 - 水災害リスク
 - 賤機山周辺では土砂災害が発生する可能性がある
 - 安倍川から離れているが、安倍川で氾濫した場合、浸水する可能性がある
 - 降雨が多いと内水氾濫が発生する可能性もある
 - 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - 建物密集地であり、居住者は少ないが、通勤や観光など地域外から来ている人が帰宅困難になる可能性や、避難所・物資不足、支援の遅延が発生する可能性がある

凡例

- 学校位置
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 1氾濫流
- 2河岸侵食
- 3どちらも該当
- 想定最大規模
 - 0m以上0.5m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 10.0m以上20.0m未満
 - 20.0m以上
- 土砂災害危険区域



H: 下流域都市中心部 (中町、馬場町、車町、富士見町)



1: 下流域平野部(石田1丁目、石田2丁目、石田3丁目、石田4丁目、中田4丁目、中田5丁目、中田6丁目)

【この地域を地理院地図やGoogleマップでみてみよう】

地理院地図でみる

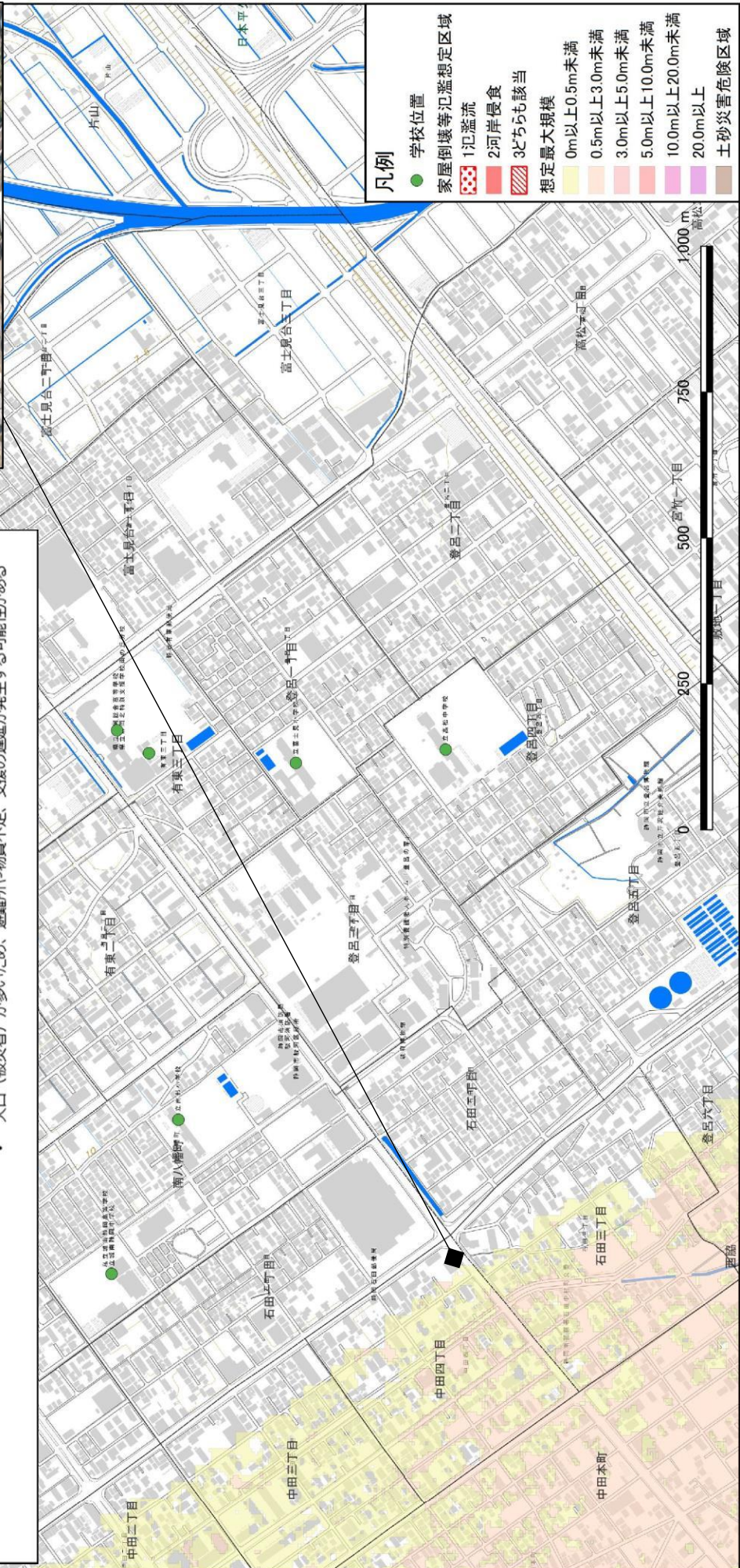
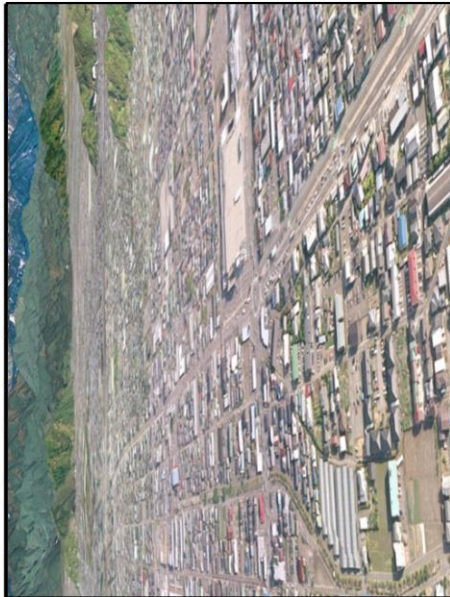


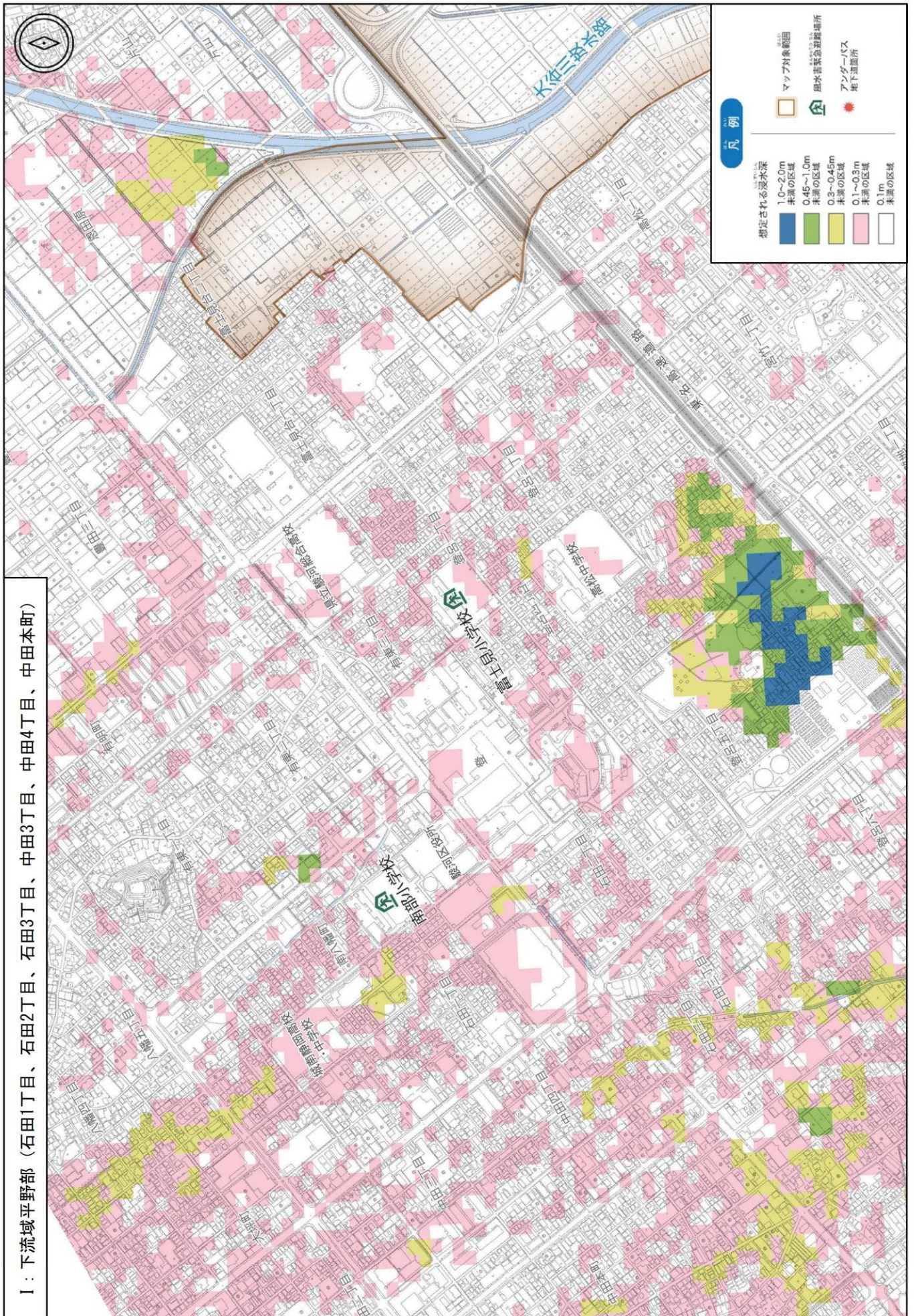
Googleマップで見る



【地域の特徴】

- 自然条件
 - 安倍川から少し距離がある市街地
- 社会条件
 - 人口は下流域で2番目。高齢者世帯の割合は約2.5割で、他の地域より現役世代割合が多い。
 - 住んでいる区内で仕事・通学する人、他の区へ移動する人は半々。他の市へ移動する人の割合も多い。
 - 静回駅に向かうバス通りが近く、交通の便がよい。商業施設や行政施設なども近い。
 - 地価公示（＝目安となる土地の価格）160,000円/㎡
- 水災害リスク
 - 安倍川から離れているが、安倍川で氾濫した場合、浸水する可能性のある地域が近くにある
 - 降雨が多いと内水氾濫が発生する可能性もある
 - 水災害リスクが発生した場合の人々の生活上の課題
 - 人口（被災者）が多いため、避難がや物資不足、支援の遅延が発生する可能性がある





R5.10版のテキストは、一部非公開としている
ページがありますので、
学校での活用や閲覧を希望される場合は、
お手数ですが以下にお問い合わせください。

静岡河川事務所 流域治水課
TEL : 054-273-9104

流域治水の推進

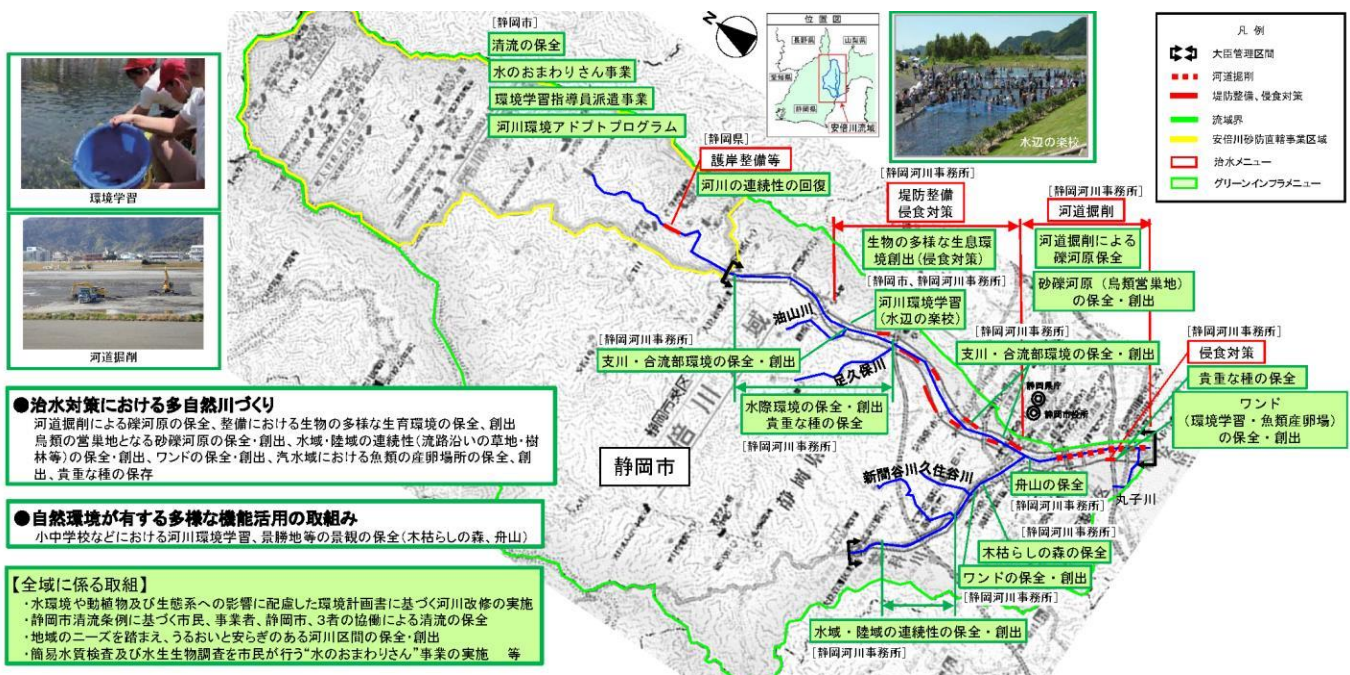
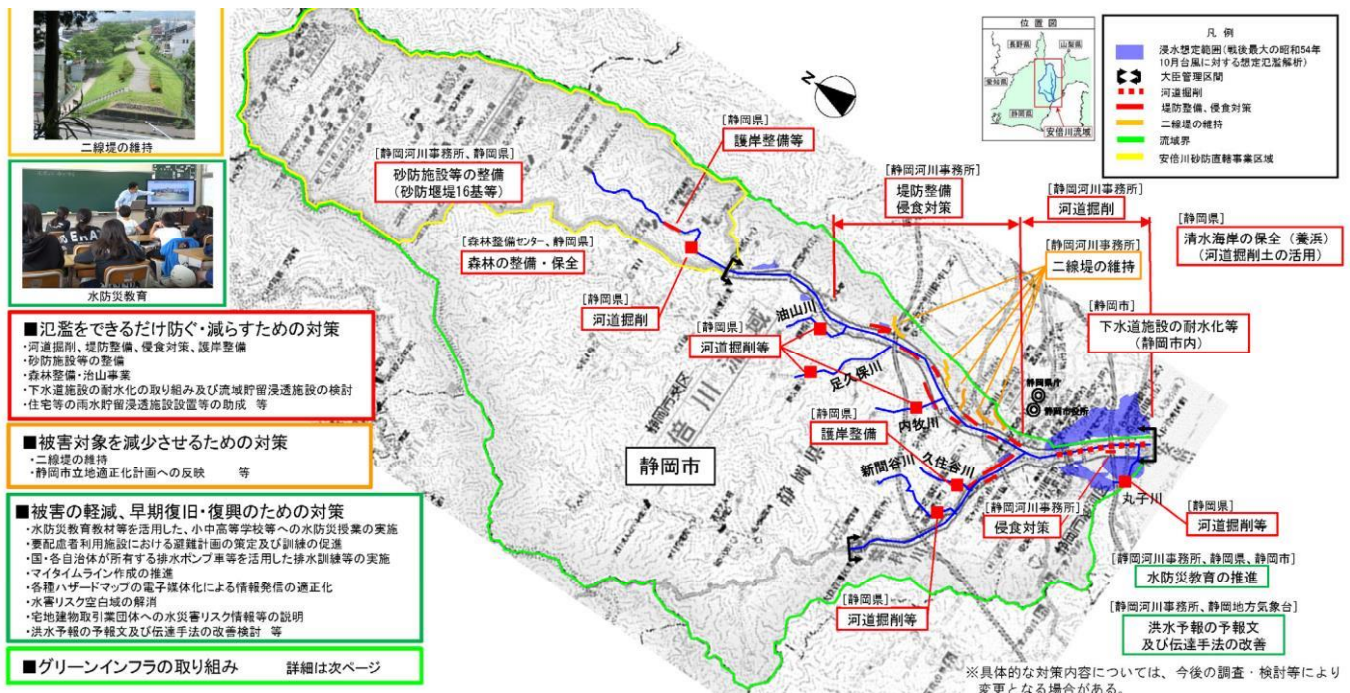
流域治水とは、気候変動の影響による水災害の悪化に対し、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、「流域」に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方

流域：一般的には集水域（雨水が河川に流入する地域）をさすが、ここでは、氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）も含む地域をさす



流域治水の取組のイメージ

安倍川水系流域治水プロジェクト（安倍川流域で実施中・取組予定の対策）



総合 学習課題2 「各地域をより住みやすくするには、災害リスクに備えてどんな対策が必要か？」

5 2で調べた地域について、より住みやすくするために、災害リスクに備えてどんな対策が必要か、P23～のハード対策の事例や、ソフト対策として、公助すべきこと、また、高校生の自分自身が共助・自助としてできることはなにかをグループで話し合って記入しましょう。

| 対象地域 | ハード整理(公助) | ソフト対策(公助・共助・自助) |
|------|-----------|-----------------|
| | | |
| | | |
| | | |

6 5について、他の班の発表をふまえて、安倍川の上・中・下流域それぞれで、どんな対策が必要か、自分自身の言葉で、80～100字程度で整理しましょう。

上流域

中流域

下流域
